

不明疾病の発生届出

- 1 届出年月日時間：平成22年4月9日17時（1回目）
平成22年4月16日16時30分（2回目）
- 2 届出者
氏名： 獣医師（動物病院）（電話番号：090-
- 3 発生農家
住所：都農町大字川北水洗
氏名： （電話番号：0983- ）（携帯：080- ）
- 4 飼養頭数：黒毛和種繁殖牛成牛：9頭、育成牛：3頭、子牛：3頭
- 5 病畜頭数：3頭（4月17日時点）

病畜の概要

名号(生年月日) 個体識別番号	あい(H14.9.23 生) 118 196	さとみ(H16.7.16 生) 121 138	まさふく(H11.3.5 生) 11 176
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・4/7:発熱(40.3 度) ・4/9:流涎、食欲なし。38.1 度 ・4/17 時点治癒 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/16:発熱、流涎、食欲なし。 ・4/17 も同じ症状 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/16(18:00):流涎確認 ・4/17:発熱(41.0 度)、流涎、食欲なし。
病変	<ul style="list-style-type: none"> ・4/9(夕方):舌に1か所び爛。歯床板に数個のび爛、痂皮形成。水泡なし。蹄には水泡なし。(獣医師、家保確認) ・4/17(昼):舌、歯床板のび爛、痂皮は認めず。(家保確認) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/16(18:00):舌と歯床板にび爛確認、水泡は認めず。(獣医師確認) ・4/17(昼):上記の病変を家保確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/16(18:00):流涎はあるが病変なし。(獣医師) ・4/17(昼):舌先端にび爛確認。水泡は認めず。他は病変なし。(家保確認)
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・4/7~4/9:ピクサ ・4/8.9.11.12:マイシン 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/16:777 シリナリム 	
採材	<ul style="list-style-type: none"> ・4/9:唾液、痂皮、血液(血清) ・4/17:全血、血清 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/17:唾液、全血、血清 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/17:唾液、全血、血清

- ・4/9 時点では、発症牛(病変確認)は1頭のみ
- ・4/16(夕方):新たに1頭に病変を確認。病変はないが流涎、1頭を確認(青木獣医師確認)。その他の同居牛は異常なし。
- ・4/17(昼):流涎のみの牛にも病変確認。その他の牛は異常なし。
- ・成牛8頭については、昼間は放牧場に放牧。放牧場内には有毒植物なし。放牧場外にワラビ。

6 給与飼料

- ・ 稲ワラ(中国産) : 3月中頃まで、現在は自家産稲ワラ
- ・ オーツハイ (オーストラリア産)
- ・ イタリアン (アメリカ産、自家産)
- ・ 配合飼料 : 農協

7 畜主の最近の海外渡航歴はなし

8 水洗地区に4戸の和牛繁殖農家、水牛飼養農家(600m)。養豚農家1戸確認。

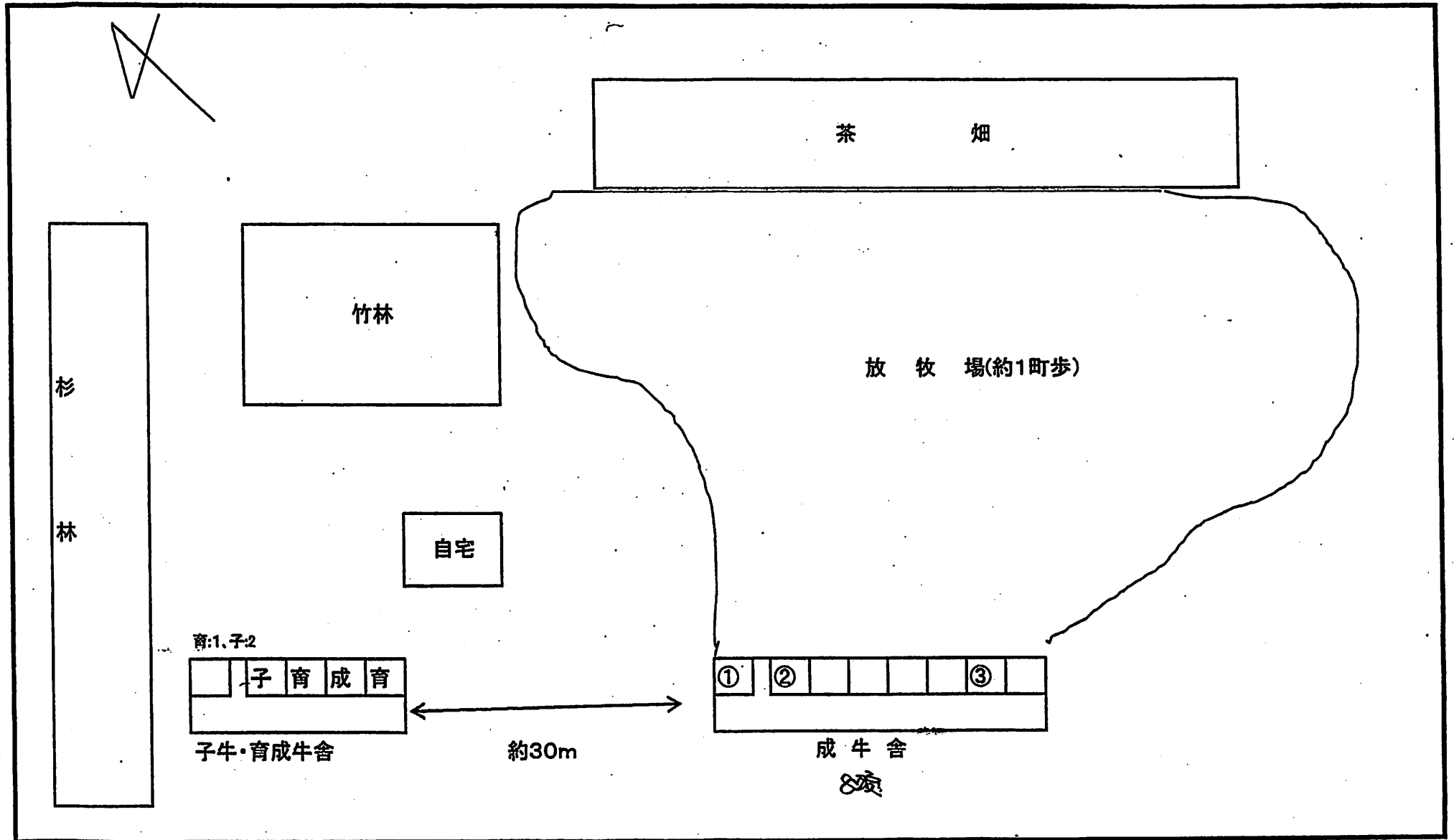
9 農家への指示

- ・ 作業は子牛、育成牛舎から行う。
- ・ 牛舎の入口に消毒槽設置すること。ビルコンを農家に渡す。
- ・ 異常牛が出たらすぐに連絡すること。

10 その他

- ・ 子牛4/23の子牛せりに出荷予定。
- ・ 3頭目の発症牛は高齢のため成牛市に出荷したい。

牛舎の見取り図



初発農場

宮崎県口蹄疫疑似患畜検査結果

検体No.	品種 (牛)	性別	生年月日		管理場所	サンプル			検査結果			
						血液	スワブ (病変部ぬぐい液)	痂皮	PCR (スワブ及び痂皮)4/20	抗体ELISA (血液)4/20	ウイルス分離 最短4/27頃	
1	未登録	未登録	未登録		育成牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
2	黒毛和種	メス	H21.9.29	12の子	子牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
3	黒毛和種	メス	H21.11.9	16の子	子牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
4	黒毛和種	オス	H21.7.20	11の子	育成牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
5	黒毛和種	メス	H20.5.10	13の子	成牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
6	黒毛和種	メス	H15.11.15		繁殖母牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
7	黒毛和種	オス	H22.4.7		子牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
8	黒毛和種	メス	H20.8.19	12の子	育成牛	育成牛舎	○			ND	+	ND
9	黒毛和種	メス	H10.3.11		繁殖母牛	成牛舎	○			ND	+	ND
10	黒毛和種	メス	H17.2.24		繁殖母牛	成牛舎	○			ND	+	ND
11	黒毛和種	メス	H9.8.11		繁殖母牛	成牛舎	○			ND	+	ND
12	黒毛和種	メス	H13.9.15		繁殖母牛	成牛舎	○			ND	+	ND
13(発症牛)	黒毛和種	メス	H18.6.7	11の子	繁殖母牛	成牛舎	○	○		+	+	4月27日頃
14(発症牛)	黒毛和種	メス	H11.3.5		繁殖母牛	成牛舎	○	○	○	+	+	4月27日頃
15(発症牛)	黒毛和種	メス	H16.7.16	12の子	繁殖母牛	成牛舎	○	○		+	+	4月27日頃
16(発症牛・治癒)	黒毛和種	メス	H14.9.23		繁殖母牛	成牛舎	○			ND	+	ND

臨床症状:

13:発熱、流涎、びらん(詳細確認中)

14:発熱、流涎、舌先端にびらん、水疱なし、蹄異常なし。

15:発熱、流涎、口腔内にびらん、水疱なし、蹄異常なし。

16:発熱、流涎、口腔内にびらん、水疱なし、蹄異常なし。17日に治癒。